

<今回>324回目 2023年3月3(金)14時~17時 602会議室

読書は10冊目「失われた九州王朝」再読 p442、2行目(3)この同一王朝とは より

<前回>323回目(23-2-27)出席者9名

資料1) ~~(22-1-30-1)~~ 前回のまとめ(清水)

~~2~~ 2) 法隆寺の中の多利思北孤、抜粹(岡田)

3) 聖徳太子に関する記述(榛葉)

A 報告 榛葉氏より東戸塚講座の募集期限は3月20日まで申し込み受付、満員ならば抽選で決定。いつも申込者多数のため、東戸塚地区センターから講座の継続を期待されている。

B 資料1-2) 前回問題になっていた上宮法皇は誰かという問題提起の資料の紹介があった。法隆寺釈迦三尊像光背銘の金石文である。疑問のきっかけ、多利思北孤は熱心な仏教徒であり、九州に多い、上宮、中宮、下宮の称号は神社(神)である。それを住居地と考え、記述されたという論に疑問を感じたという事であった。書紀には用明天皇が宮の南の上殿に居らせたとある。住居地を冠して貴人を呼ぶ習慣(事例)は多数ある。
2
誰がこの

書式変更: インデント: 左: 0 mm, ぶら下げインデント: 1 字, 最初の行: -1 字

一3) 聖徳太子伝説の根拠となっている「上宮聖徳法王帝説の文庫本」を手に入れて読んでいます。原本は今存在しない。写本は江戸末期まで法隆寺に保管され、その後知恩院に移された(国宝)、内容から弘仁年間(810から824年)以降、永承5年(1050年)までには現在の形になった。内容は法隆寺釈迦三尊像光背銘分と一致している。鬼前太后(母、穴穂部間人)、干食皇后(第4妃膳妃)、没年は(622年)2月22日、仏教伝来は538年10月12日。仏教と神道との区分の程度など、問題になった。いずれにしても法隆寺の銘板名上宮法皇を聖徳太子になぞらえたことは確かであろう。(光背銘が当時から尊重された、強力な権力者に命じられた。)

C 読書 p428 任那日本府

1) 朝鮮内の「日本府」は「安羅日本府」もある。(欽明544年3月条)。百濟本記の中に「安羅を以って父とす、日本府を以って本とするなり」(日本書紀)民間資料 おだいとく

2) 金錫亨氏(朝鮮古代史学者)は徹底して「百濟3史」とも偽書として否定した。日本の古代史学会も当時は反論もしなかった。ただ井上秀雄氏(三国史記翻訳者)は各資料に即した新羅人の用いた「倭」を再検討すると共に日朝の古代史を再構成する必要がある。と述べたのみであった。そんな時に好太王碑の調査、解釈に新説を出し、唯一反論できたのは古田先生で(この反論は通説側の学者も高く評価)、百濟3史に対しても①貴国問題②武寧王陵碑との比較問題、③天皇太子皇子同時崩葬問題を取り上げて(磐井の滅亡指定論)、百濟三史の時代性、地政学性から信頼性が高いと論じた。

3) 日本府はどこか。九州王朝以外にはない。継体の死の年次、仏教伝来の年次などは近畿天皇家のものではなく、九州の日本天皇家に対するものであると断じた。

4 欽明紀の70%弱が百濟本記に基づくもの、直接引用も14個。A 継体10年(516年)5月戊寅(14日)百濟の将軍が阿比多を派遣する。B 欽明11年(550年)百濟本記に曰く日本使人阿比多3舟で都下に至る阿比多は同一人物である。(550-516=34年後)継体崩はその中間だから、いずれも同一王朝だ。

6) 百濟上部奈率科野は日本の信濃か。弓馬の援助の申し出が古今に渡ると書いてある。

4-2

書式変更: フォント: 11 pt, 太字, 斜体, 下線, 蛍光ペン

~~5) 九州年号の最終証明。~~

~~① 金印—卑弥呼—倭の5王—多利思北孤と一貫した九州王朝、斉明5年(659年)天皇家の使者と衝突したのを知った。(高山説では近畿天皇系の2派の衝突)~~

~~② 冊府元龜—これは北宋の大中祥符6年(1013年)皇帝の勅を奉じた、14巻の百科事典。これの倭国の最終貢献記事が咸亨元年(670年)倭国王使いを遣わし、高麗を平ぐるを賀す。長安元年(701年)日本国使いを遣わし、其の大臣朝臣、人を貢し、方物を貢す。とある。九州年号が700年まで続いている。この事実がこの年まで九州王朝が列島の正規の代表者であり、近畿天皇家ではなかったことを示している。~~

~~③ 九州年号研究史の問題性—江戸時代の研究論文は膨大で明治以降は火の消えたような寂しさだ。江戸期までは知的興味の対象でしかなかったのが、明治期は日本書紀に示された天皇家の年号が歴史教育の根幹となり、国家の根幹をなした。大宝以前の3年号、大宝以降現代まで連続したのに対して、それ以前に九州年号があったことは国家の根幹、天皇制に対する信頼性を損ねる影響を持つ。~~

~~次回—2023年2月6日(月)—14時から17時—602会議室~~

~~—3月27日(月) 14時から17時—601会議室~~

~~4月10日(月) 14時から17時—602会議室~~

書式変更: インデント: 左: 1.1 mm

書式変更: 段落番号 + レベル: 2 + 番号のスタイル: ①, ②, ③ ... + 開始: 1 + 配置: 左 + 整列: 7.4 mm + インデント: 13.8 mm

書式変更: インデント: 左: 1.1 mm

書式変更: 段落番号 + レベル: 2 + 番号のスタイル: ①, ②, ③ ... + 開始: 1 + 配置: 左 + 整列: 7.4 mm + インデント: 13.8 mm

書式変更: インデント: 左: 1.1 mm

書式変更: インデント: 左: 1.1 mm, 段落番号 + レベル: 2 + 番号のスタイル: ①, ②, ③ ... + 開始: 1 + 配置: 左 + 整列: 7.4 mm + インデント: 13.8 mm